



# 赤間っ子だより



2月号

令和6年2月5日  
宗像市立赤間小学校 校長 早川 由洋

## 4年に1度のひみつ！

今年は、うるう年です。うるう年とは、1年が366日となる年のことを指します。今月は28日ではなく29日まであります。

地球は、太陽の周りを約365.24219日で1周します。しかし、現在私たちが使っている「グレゴリオ暦（太陽暦）」では、1年を365日としています。このため毎年約0.24219日、4年間で約0.96876日（0.24219日×4年）のずれが発生してしまいます。

このずれをなおすために、1日追加して、1年が366日となる「うるう年」が導入されました。

しかし、先のことですが2100年は4年に1度のうるう年にあたるものの、うるう年とはせず、通常の365日での1年となります。これは、4年で0.96876のずれなのに1日をたすことで多くたしすぎているので、それをさらに調整するためです。

では、なぜ2月にずれを調整するのでしょうか。何月で調整しても同じように思うのですが、その理由をご存じですか？

現在私たちが使っている「グレゴリオ暦」は、古代ローマの暦が元になっています。その古代ローマの暦においては、現在の2月にあたる月が1年の終わりの月でした。そのため調整するのに都合がよく、2月だけ普通は28日までだったり、うるう年に29日として日数調整をしたりするようになったそうです。

そもそも「うるう（閏）」とは、「余分な」とか「余り」という意味があります。4年に1度だけ1年間の日数が多いことで「うるう年」と呼ばれています。

世の中には、常識ではあるけれどもその意味やいわれを知らないことが多々あります。それでも、現代は、検索社会と言われるように、わからないことをすぐにパソコンやスマホで調べることができます。

肝心なのは、知らないまま通り過ぎるのではなく、一度立ち止まって考えてみるのだと思います。

4年に一度の「うるう年」が、なぜ起きるのか。不思議と思って、好奇心や関心を働かせる。そう思ったことが、子どもの知性を豊かにしていきます。



## 教職員の異動及び離任式について

教職員の年度末異動については、昨年度より内示の時期が早められ、3学期修了式の際には、教職員の異動が概ね判明しています。

そこで、宗像市においては、3学期修了式の際に異動が決まっている職員の離任式を併せて実施しております。4月の始業式の日には赴任式のみとなります。

※修了式の時点で、一部異動が確定していない職員もあります。その場合は、始業式に紙面でお伝えすることとなり、その職員の離任式は行いません。

## ・・・2月の主な行事・・・

詳細は紙面にて  
お知らせしています。

- ・インフルエンザや新型コロナウイルス感染症が流行していることにより、行事が変更や中止となる場合があります。その際は、保護者メールでお知らせいたします。
- ・日の中学校入学説明会は、中学校を会場に参集型で実施されます。

